

耀き疾走する仲間達躍動の要諦、人事Ⅱ仁慈

仁慈



「仁慈」とは、仁を以って慈しむこと、
即ち、愛し、育むこと、

さて、身に覚えが有ろうが、多くの企業では期末になると
人事の噂で持ちきり、

他人の幸不幸、とりわけ不幸は好い肴に為るからだ。

ゆえに人事（じんじ→ひとこと）は正に他人事（ひとこと）と言えよう。

但し、もし、我が社に於いても人事が他人事であったなら、

果たして私達は、私達の再生物語を生き抜くことが叶うたであろうか、

御互いを耀かせ共に手を取り疾走し、誇りを以て傍業（はたらく）、
働けたであろうか。

而して、人事の極意とは正に同音遺訓の「仁慈」に基づく、
左様私は断言する。

だからこそ、我が社の人事は、

理念の唯一の創造主であり伝道者である社長の専権事項、

或いは其之負託を受けた極僅かな役員のみが此れを行う。

絶対に、人事を、他人事にはさせない決意の表れでもあるのだ。

働く仲間達が此之困難之季を誇りを以て働けるかどうか、

今、改めて、私は盟う、

仁慈に基づいた人事を以て、

耀き疾走する仲間達躍動する機会生み続けることを！

代表取締役社長CEO兼グループCEO

小野有理